

平成29年度 学校運営計画書

別紙1

学校名 和歌山市立河西中学校 校長名 東方 美喜夫 作成日 平成29年 4月13日

学校教育目標

「自主的でたくましく、心豊かな生徒の育成」

深く考え思いやりのある生徒、進んで学びみがき合う生徒、健康でたくましく体力のある生徒の育成

自分や仲間を大切にし、決まりを守り、責任を果たす生徒

人権感覚を身につけ、互いを認め合う生徒

主体的・対話的で深い学びができる生徒

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校づくりを推進する。 ・地域との交流を深め行事や自治会活動等に積極的に参加する。 ・保護者との信頼関係を強化する。 ・校内の環境を整え、保護者や地域の方々が訪問しやすい環境をつくる。 ・関係機関との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体を通して道徳教育の充実を図る。 ・体験活動の充実を図る。 ・人権同和教育を推進し、人権意識を高める。 ・不登校生徒へのきめ細かな対応を図る。 ・規範意識を高めるための取組をする。 ・教師と生徒、生徒同士の人間関係づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着を図る工夫をする。 ・学び合いの授業づくりを推進する。 ・家庭教育の習慣化を図るための工夫をする。 ・キャリア教育を推進し主体的に将来の生き方を考え進路選択ができるようにする。 ・特別支援教育を充実させる。 ・通級指導教室の活用を充実させる。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全推進員と連携した挨拶運動を充実させる。 ・子ども会活動や地域の行事等に積極的に参加する。 ・メール連絡システムを活用し保護者に情報を素早く発信する。 ・ホームページを随時更新しながら積極的に学校の教育活動を知らせる。 ・学校便り、学年便り等を発行し多くの情報を発信する。 ・気になる生徒の状況等について、きめ細かく家庭連絡を行う。 ・学校行事や学校開放週間だけでなく、いつでも地域の人や保護者が訪問しやすい工夫に努める。 ・子どもを育てる協議会や自治会など地域諸団体との交流の場に積極的に参加する。 ・子ども会や地域小学校との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間の研究授業を実施する。 ・職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動等を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図る。 ・人権同和教育に組織的・計画的に取り組む。 ・不登校解消に向けケース会議を積極的に実施し関係機関との連携を密にとりながら取り組む。 ・不登校生徒家庭との連携を密にし、粘り強い関わりをするとともに、スクールカウンセラーと連携をとり指導・支援の方法や状況について情報交換を行いながらすすめていく。 ・教室に入りにくい生徒のための「サポート教室」を設置する。 ・生徒指導委員会や学年会で生徒の情報交換をきめ細かく行い共通理解のもと全教職員で取り組む体制をつくる。 ・休憩時間、昼食時、清掃時、部活同時等、あらゆる機会を活用し、生徒との交流を通して生徒理解に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学調や県学調の結果を分析し学力課題を明確にし基礎学力の確実な定着を図る。 ・学び合いの授業づくりの研究と実践を推進するとともに校内研修を活性化させ授業改善を図る。 ・チャイムと共に行動し授業に取り組む姿勢を身につけさせる。 ・学生ボランティアを活用した授業展開を実施する。 ・家庭学習の手引きを充実させ、その活用により学習習慣を身につけさせる。 ・夏休み中に「学習相談日」を設定し、基礎学力の向上に努める。 ・将来の進路選択ができるように情報提供も含めてきめ細かな指導に努める。 ・職場体験活動、職業調べ等、進路に係る学習を充実させる。 ・支援が必要な生徒の個別の指導計画を作り指導の一貫性と情報の共有化を図る。また、小中の連携シートの作成・活用を図る。 ・河西ブロック特別支援連絡協議会等で積極的な情報交換を行う。